

若手会員グループの萌芽的研究及び研究交流の奨励に関する助成について【募集】

日本社会教育学会では、本年度も若手研究者の優れた研究を助成し、会員相互の研究交流の促進と学会全体の研究を発展させるため、下記の内容で研究助成候補グループを募集します。奮ってご応募ください。

- 1) 対象は日本社会教育学会の会員 3 人以上のグループとし、その会員の過半数は若手会員とする。ここで若手会員とは、大学院入学後あるいは社会教育施設・団体等での職務に従事後、おおむね 10 年以内の会員とする。(大学等所属機関の枠を超えての共同研究及び交流の主旨をふまえ、同一所属先のメンバーがグループ構成員の半数を超えないようにすること。)
- 2) 対象になる研究は、将来において新しい研究領域を切り拓くような独創性を有するものを選ぶ。
- 3) 助成額は 1 件 10 万円とする。
- 4) 助成希望者は、研究内容及び研究組織を明確にした計画書を事務局（下記参照）にメールで送信する。計画書の書式は学会 HP からダウンロード可。
- 5) 助成を受けたグループは、助成決定年度の翌年度（2022 年度）に、下記に挙げる方法のいずれかによって研究成果の報告を行うとともに、報告後の直近の『社会教育学研究』に研究成果の内容を報告する。

〈研究成果の報告方法〉

- ①助成決定年度の翌年（2022 年 6 月）に行われる六月集会において、ラウンドテーブルを開催
- ②助成決定年度の翌年（2022 年 9 月）に行われる第 69 回研究大会において、ラウンドテーブルを開催、もしくは自由研究発表へのエントリー

※新型コロナウイルスの影響等で六月集会・研究大会時にラウンドテーブルが開催されない場合には、公開研究会開催をもって代替することも認める（開催にあたっては学会メールにて案内を流し参加者を募ること。その際、参加者に定員を設定することは可能）。

- 6) 公募の締切は、2021 年 4 月 30 日（金）〈必着〉とし、採用予定者を 6 月の全国理事会で決定後、公表する。
- 7) 助成を受けたグループは、年度末に収支を報告する。

○エントリー方法:学会事務局あて、メールで申し込む。

Jssace.office@gmail.com（組織・財政担当）